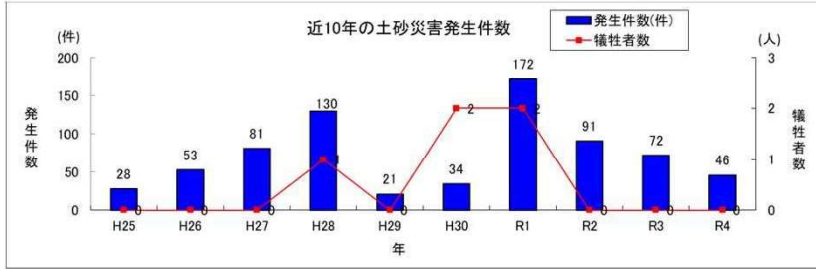




近年の豪雨等に対する砂防関係施設の整備効果

■被害の実態

近10年（平成25年～令和4年）において、年平均73件の土砂災害が毎年発生。
近10年に発生した土砂災害による犠牲者は5名。



■施設効果事例

近10年（平成25年～令和4年）において、土石流等やがけ崩れを捕捉した報告が9事例あり、人家等への被害を未然に防止した。

【捕捉した事例】

土石流等：平成25年，平成28年，平成30年，令和4年
がけ崩れ：平成25年，令和2年（2回），令和3年，令和4年

垂水市・深港川2
降雨前の状況(7/4)
（掘削直後には不安定土砂が堆積）

平成27年の梅雨前線豪雨による土石流災害後に整備した砂防堰堤（本堤）が完成したことにより、土砂や流木を捕捉し下流への被害を防止することが出来た。

豪雨時の状況(H30/7/7) 豪雨時の状況(H30/7/7) 流木の捕捉状況(H30/7/8)

■垂水市・深港川 平成30年7月豪雨における砂防堰堤による土砂・流木を捕捉

■鹿児島市・日枝ヶ迫2地区 令和4年9月の台風第14号における急傾斜地崩壊防止施設による倒木及び土砂を捕捉

位置図 鹿児島市日枝ヶ迫2地区

○令和4年9月19日の台風第14号により倒木及びがけ崩れが発生したが、鹿児島県による急傾斜地崩壊防止施設が整備されており倒木及び崩壊土砂を捕捉。周辺人家等への被害を未然に防止した。

発生日：令和4年9月19日
降雨状況：連続雨量 209mm（9月18日2時～19日17時）
時間最大雨量 31mm（9月18日18時～19時）

発生箇所：鹿児島県鹿児島市 日枝ヶ迫2地区
捕捉量：倒木及び土砂約30m³

がけ崩れ発生状況 倒木及び崩壊土砂を捕捉！！

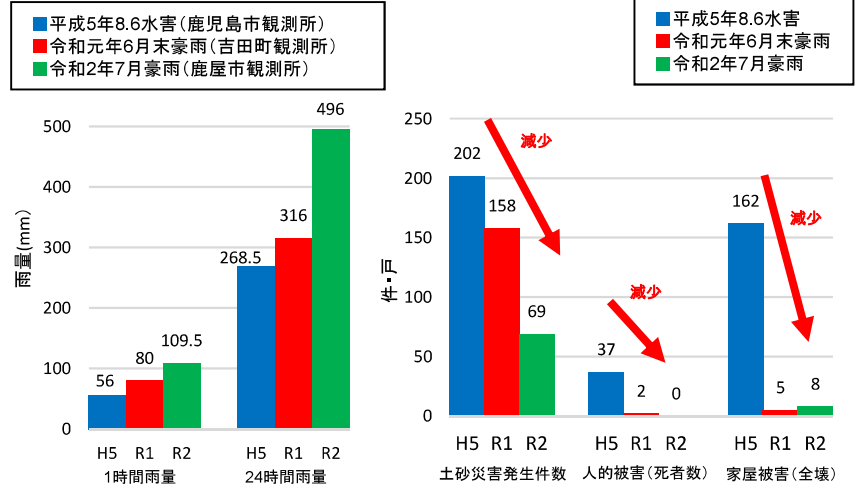
急傾斜地崩壊防止施設（堆石防護壁及び植栽） ※周辺人家（写真手前）に被害無し

■整備効果

1993年（平成5年）の8・6水害や2006年（平成18年）の鹿児島県北部豪雨災害を受けて、大きな被害を受けた地域等に砂防関係施設を重点的に整備してきた結果、土砂災害の発生件数及び被害が減少。

【平成5年8・6水害，令和元年6月末豪雨と令和2年7月豪雨との比較】

■降水量



【平成18年北薩豪雨と令和3年7月の大雨との比較】

